



平成22年3月17日

各位

会社名 株式会社ティー・ワイ・オー  
代表者名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者  
吉田 博昭  
(JASDAQ・コード番号:4358)  
問い合わせ先 取締役 経営戦略本部長 上窪 弘晃  
電話番号 03-5434-1586

「営業外費用、並びに業績予想との差異に関するお知らせ」の一部修正に関するお知らせ

当社は、平成22年7月期第2四半期において特別損失を計上することとなりました。当該特別損失の計上に伴い、先般発表いたしました「営業外費用、並びに業績予想との差異に関するお知らせ」に修正すべき事項が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 修正の内容、経緯及び事由

当社は、平成22年3月10日付で、「平成22年7月期第2四半期決算短信」を発表いたしました。その後、第29期第2四半期報告書の監査の過程で、新たに特別損失を計上することとなりました。当該特別損失の計上に伴い、平成22年3月10日付で発表した「営業外費用の発生、並びに業績予想との差異に関するお知らせ」のうち、平成22年7月期第二四半期累計期間（個別）業績予想の差異について修正すべき事項が発生したものであります。

#### 2. 特別損失の内容

##### 貸倒引当金繰入額（連結・個別）

当社グループは、前連結会計年度においてエンタテインメント事業のゲームソフト部門から撤退いたしました。当該ゲームソフト部門に対する一部貸付債権について、資金繰り状況、収益計画等から回収可能性について総合的に勘案し、より厳格に検討いたしました。その結果、当社の貸付債権の一部である348百万円を貸倒引当金繰入額として計上いたしました。

#### 3. 修正箇所 修正箇所には下線を付しております。

##### 1 ページ目

##### (1) 連結業績予想の修正

##### 【修正前】

(単位：百万円)

|                                   | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益<br>又は四半期純損失 | 1株当たり四半期純利益<br>又は四半期純損失 |
|-----------------------------------|--------|------|------|--------------------|-------------------------|
| 前回予想 (A)                          | 13,000 | 300  | 150  | 30                 | 1.08                    |
| 今回修正 (B)                          | 13,580 | 397  | 171  | <u>△227</u>        | <u>△8.21</u>            |
| 増減額 (B - A)                       | 580    | 97   | 21   | <u>△257</u>        | —                       |
| 増減率 (%)                           | 4.5    | 32.3 | 14.0 | —                  | —                       |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成21年7月期第2四半期) | 15,648 | 310  | 142  | △369               | △13.08                  |

## 【修正後】

(単位：百万円)

|                                   | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益<br>又は四半期純損失 | 1株当たり四半期純利益<br>又は四半期純損失 |
|-----------------------------------|--------|------|------|--------------------|-------------------------|
| 前回予想 (A)                          | 13,000 | 300  | 150  | 30                 | 1.08                    |
| 今回修正 (B)                          | 13,580 | 397  | 171  | <u>△576</u>        | <u>△20.79</u>           |
| 増減額 (B - A)                       | 580    | 97   | 21   | <u>△606</u>        | —                       |
| 増減率 (%)                           | 4.5    | 32.3 | 14.0 | —                  | —                       |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成21年7月期第2四半期) | 15,648 | 310  | 142  | △369               | △13.08                  |

## 2 ページ目

## (2) 修正理由

## 【修正前】

売上高につきましては、前連結会計年度におきましてエンタテインメント事業のゲームソフト部門から撤退したこと等の影響を大きく受け、前年同四半期比では減少いたしました。が、広告映像事業のTV-CM部門及びエンタテインメント事業のCG部門が好調に推移した結果、当初予想より580百万円増の13,580百万円となります。

営業利益につきましては、上述の売上高における増加要因と、グループ全体で取り組んでいるコスト削減施策等が奏功し、当初予想より97百万円増の397百万円となります。

経常利益につきましては、上述の「1. 営業外費用の発生及びその内容(連結・個別)」に記載の通り、組合出資原価償却費の計上が利益を圧迫するも、営業利益までの増加要因により、当初予想より21百万円増の171百万円となります。

四半期純損失につきましては、第1四半期連結会計期間において投資有価証券売却損を計上したこと、並びにTV-CM部門とCG部門が好調に推移した結果、想定より法人税等の負担が増加したことが影響いたしました。以上の結果、前年同四半期比で改善されたものの、当初予想より257百万円減の227百万円の四半期純損失となります。

## 【修正後】

売上高につきましては、前連結会計年度におきましてエンタテインメント事業のゲームソフト部門から撤退したこと等の影響を大きく受け、前年同四半期比では減少いたしました。が、広告映像事業のTV-CM部門及びエンタテインメント事業のCG部門が好調に推移した結果、当初予想より580百万円増の13,580百万円となります。

営業利益につきましては、上述の売上高における増加要因と、グループ全体で取り組んでいるコスト削減施策等が奏功し、当初予想より97百万円増の397百万円となります。

経常利益につきましては、上述の「1. 営業外費用の発生及びその内容(連結・個別)」に記載の通り、組合出資原価償却費の計上が利益を圧迫するも、営業利益までの増加要因により、当初予想より21百万円増の171百万円となります。

四半期純損失につきましては、第1四半期連結会計期間において投資有価証券売却損を計上したこと、並びにTV-CM部門とCG部門が好調に推移した結果、想定より法人税等の負担が増加したことが影響いたしました。また、上述の通り特別損失を計上したことも影響いたしました。以上の結果、当初予想より606百万円減の576百万円の四半期純損失となります。

2 ページ目

(3) 個別業績予想の修正

【修正前】

(単位：百万円)

|                                   | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 四半期純利益       | 1株当たり四半期純利益  |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|--------------|--------------|
| 前回予想 (A)                          | 1,300 | 100   | 100   | 100          | 3.61         |
| 今回修正 (B)                          | 1,603 | 371   | 375   | <u>381</u>   | <u>13.78</u> |
| 増減額 (B - A)                       | 303   | 271   | 275   | <u>281</u>   | —            |
| 増減率 (%)                           | 23.3  | 271.0 | 275.0 | <u>281.0</u> | —            |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成21年7月期第2四半期) | 1,633 | 496   | 509   | 437          | 15.79        |

【修正後】

(単位：百万円)

|                                   | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 四半期純利益       | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|--------------|-------------|
| 前回予想 (A)                          | 1,300 | 100   | 100   | 100          | 3.61        |
| 今回修正 (B)                          | 1,603 | 371   | 375   | <u>33</u>    | <u>1.20</u> |
| 増減額 (B - A)                       | 303   | 271   | 275   | <u>△67</u>   | —           |
| 増減率 (%)                           | 23.3  | 271.0 | 275.0 | <u>△67.0</u> | —           |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成21年7月期第2四半期) | 1,633 | 496   | 509   | 437          | 15.79       |

2 ページ目

(4) 修正理由

【修正前】

売上高につきましては、子会社におけるコスト削減施策の提案、合併及び統合等に向けた経営管理等の業務増加に伴うグループ管理手数料増加により、当初予想より 303 百万円増の 1,603 百万円となります。

営業利益につきましては、売上高における増加要因と同様であり、当初予想より 271 百万円増の 371 百万円となります。

経常利益につきましては、上述の営業利益における増加要因と同様であり、当初予想より 275 百万円増の 375 百万円となります。

四半期純利益につきましては、上述の経常利益における増加要因と同様であり、当初予想より 281 百万円増の 381 百万円の四半期純利益となります。

【修正後】

売上高につきましては、子会社におけるコスト削減施策の提案、合併及び統合等に向けた経営管理等の業務増加に伴うグループ管理手数料増加により、当初予想より 303 百万円増の 1,603 百万円となります。

営業利益につきましては、売上高における増加要因と同様であり、当初予想より 271 百万円増の 371 百万円となります。

経常利益につきましては、上述の営業利益における増加要因と同様であり、当初予想より 275 百万円増の 375 百万円となります。

四半期純利益につきましては、上述の通り、特別損失を計上した結果、当初予想より 67 百万円減の 33 百万円の四半期純利益となります。

なお、通期業績予想（連結・個別）については、現時点において平成21年9月17日付「平成21年7月期決算短信」にて発表した数字から修正はございません。現在、当社グループは全社的なコスト削減施策や、平成22年1月14日付「TYOグループ統合の基本方針に関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、グループ統合に向けた施策に取り組んでおります。コスト削減施策やグループ統合等がもたらす効果について、慎重に見極める必要があると考えております。また、本日発表の「子会社株式譲渡の基本合意に関するお知らせ」及び「第三者割当による自己株式処分並びに主要株主の異動に関するお知らせ」が、当社平成22年7月期連結業績に与える影響についても精査中であり、現在精査中ではありますが、今後の市場動向及び当社グループの業績動向を踏まえた結果、見直しが必要である場合には速やかに開示いたします。

以上